

想いをつなぐ

Omoshiro とは？

私たち、一般社団法人 Omoshiro は
精神疾患を抱えたお母さん、ひとり親のお母さんなど・・・
サポートを必要とする家庭と
その家庭に育つこどもに対して
生活・就労・学習・居住支援等に関する事業を行っています。

一人ひとりの個性・多様性を活かした
誰一人取り残さない、誰もが暮らしやすい
豊かな共生社会の実現を目指して活動する
「面白(オモシロ)がる」大人たちでつくる法人です。

「面白がるチカラ」

創造力(想像力)や柔らかい頭と心で
多面的に、あらゆる人や物事・状況を客観視し
前向きに受け止めて、可能性を信じ
可能性を広げる・・・面白がってみること。

そんな「面白がるチカラ」で
面白がって平気に生きることが
個性や多様な在り方を相互に認め合い、支え合い、
安心できる暮らしと生きがいにつながるのではないのでしょうか？

そんな大人たちの姿をこどもたちへ届けることが
こどもたちの安心と希望につながると信じています。



一般社団法人 Omoshiro



一般社団法人 Omoshiro

出会う × つながる → 想いをつなぐ

一般社団法人 Omoshiro
横浜市指定特定相談支援事業所 こかげ

230-0048
神奈川県横浜市鶴見区本町通1丁目2番地
ブックストーリー・秋 105
JR鶴見駅東口より徒歩10分 / 京急鶴見駅東口より徒歩8分

070-8377-3939 (平日 9:00-17:00)
info@omoshirosan.or.jp
<https://www.omoshirosan.or.jp>



出会う × つながる →

想いをつなぐ

Omoshiro が生まれた理由

とある少女のお話。

部屋には荷物が床一面に溢れ
彼女は毎朝、そこからマスクや教科書を探して登校します。

彼女のお母さんはうつ症状がひどく、薬が合わず昼夜逆転。
彼女が登校する時にはまだ寝ています。
彼女は、私に話しました。
「自分の居場所がほしい」と…。

現在、こどもの制度と生きづらさを抱える親の制度は異なります。
そのため、窓口も担当者も別々になります。

それぞれの制度からのサポートのみでは
彼女の求む場所を作ること、
その場所を、安心できる居場所として
届けることができていない。これが現実でした。
さらに、こどもの支援は16歳で終了します。

今、この親子に必要なこと…
それは今、この社会に必要なこと。

一般社団法人 Omoshiroは
出会いをつなぎながら、
ヒトやコト、そして場所を届けきることを使命に誕生しました。



事業概要

4つの事業を展開することで、親子への出会い～サポート開始までを、精神保健福祉士 (PSW/MHSW) が伴走する、新しいカタチを実現します。
親と子ども、それぞれの本来持っている力に着目し、対話を重ね、引き出しながら、必要な制度・支援につなげていきます。

計画相談支援事業 横浜市指定特定相談支援事業所 こかげ

親と子、それぞれが、自分の願い・問題に
気付くことができる支援を提供します。

○ 行政と連携したアウトリーチ支援

今、支援が届いていない親子へ
「手を伸ばす」ことを大切に
区と協働しながら
「支援の入り口」をつくります。

○ 届けきる支援

制度の狭間にあっても
人やコトの課題を整理し
コーディネートすることで、
今アナタに必要な支援を届けきります。

○ こどもの居場所事業

生きづらさを抱えるこどもたちへの
生き抜くチカラを育む、居場所拠点の提供。
こども自身が自発的に困っていることを伝え
解決策を探していけるチカラを育みます。

○ 生活支援

食事の機会、生活習慣の学び。
大人がこどものためにつくりたい
居場所ではなく、こどもたちが大人と
一緒につくりたい居場所で在れるよう
こどもの声に耳を傾けます。

○ 学習支援

学力ではなく、自学をマネジメントできるチカラを育みます。
なりたい自分のイメージに向けて学ぶことで
自分自身が近づける手応え、自己効力感を体現していきます。

○ 交流型イベントの企画・運営

イベントを通して、こどもたちと面白がる大人たちが出会い
ワクワクする仕掛けをつくります。

法人沿革

- 2021年 2月 一般社団法人 Omoshiro 設立
- 4月 横浜市指定特定相談支援事業所 こかげ 開所
つるみmachiミーティング参加
- 5月 横浜市鶴見区社会福祉協議会フードドライブ利用開始

精神保健福祉士(PSW/MHSW)育成事業

「つながりづくりのプロ」を育成します。
研修会の開催やケース援助の有り様を
より具体的に指導するSVを提供します。

○ PSWチーム結成・育成

出会えたこどもたちから得た
学びを活かして
役に立つ情報やアイデアを
常に更新し続ける
計画相談支援チームを結成します。

その他の事業

ボランティアを巻き込む“
お互い様”の関係づくり。
背負った連鎖を地域の
ヒト・コト・モノのつながりで
断ち切る仕組みづくりを行います。

○ 企業や団体への働きかけ

奨学金や企業基金など
社会の資源を必要な親子に
届ける橋渡しをします。

○ ボランティア機能の構築

法人ビジョンへのファンをつくり
私たちの考える地域問題を
他社へ社会へつなげる
プロセスを大切にします。

- 6月 NPO法人セカンドリーグ神奈川との業務連携開始
横浜市中央児童相談所職員研修に、当法人代表理事・
勝呂ちひろが講師として登壇
- 10月 令和2年度ヨコハマ市民まち普請事業 子安台みんなの家
学習支援事業開始予定